
熱くなる理由(わけ)

鴉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

熱くなる理由^{わけ}

【Nコード】

N9804A

【作者名】

鶉

【あらすじ】

いつもの様に智がうちにやってきた。でも少しだけいつもと様子が違うと思ったのは気のせいだろうか？そんな時、智は……。ストーリー的に下ネタが入っていますので苦手な方は遠慮した方がよろしいかと思います。

（前書き）

あらずじにも書きましたが下ネタが入ってますので苦手な方は今のうちにお戻り下さい。ちなみに性的描写は一切ありません。

「なあ。」

「んー？」

ベッドの上でファッション誌を眺めてた俺は、人の家のソファに座り、人の家のお菓子を食べ、人の家のゲームをしている智に呼ばれた。

「お前さ……エロ本ってどこに隠してる？」

「……………は？」

思わず間の抜けた声を出してしまった。

「だ、か、ら！！エロ本だよ、エ、ロ、…」

「いや、そんなに強調しなくてもわかるけど。」

「……………で、何処よ？」

「そんなの言うわけ……………って、何してんだ！！」

智はいつの間にかソファから降り、俺のベッドの下に手を入れている。

「うゝん、……………おっ？」

手応えを感じたのか智はニンマリと笑う。

「ヒデのオカズみくっ……け？」

智が取り出したのは『小四の算数・上』だった。

「智………今時の学生がベッドの下にエロ本を隠してるとでも思ってるのか？」

ちなみにベッドの下には小学校、中学校の教科書やノート、昔読んでいた漫画ばかりである。当然18禁のものなど一つも無い。

「ば、馬鹿な！！ヒロもカズもジュンもベッドの下だったぞ！！」

あいつら………馬鹿だな………

「大体なあ！！ベッドの下にエロ本は男子学生の浪漫だろ！？」

いつから浪漫になったかは聞きたいものだが。

「大体最近の奴らはやれビデオだやれDVDだ、って………元祖はブックだろ、BOOK！！」

いや、そんなのは個人の勝手だろ。

「つーか、さっきからヒデ！！お前は何だ！！」

「は？」

俺は斎藤 秀秋じゃないのか？

「さも『俺、そういうの興味ないから。』みたいなクールを装いやがって！！だいたいなあ……」

「……………なあ。」

「何だよ！！」

「お前なんでそんなに興奮してるわけ？しかも話題がエロ本って。」
すると智は寂しそうな目をした。

「実はな……俺もエロ本をベッドの下に入れてたんだ。」

……………ここにも馬鹿がいた。

「……………で、母ちゃんに見つかったんだ……………」

……………ご愁傷様に……………

「で、あのババア！！あろうことが俺の机の上に置きやがったんだ！！」

……………うわ……………エグいな……………

「……………で、俺も考えたよ。本棚に隠したり、机の中に入れたり、逆にカバーをつけてベッドの上に置いたり。恥をしのんで学校の鞆にまで入れたさ！！」

…… 凄い執念だな。

「ところがだ！！あのババアときたら毎日確実に見つけやがるんだ！！」

…… 更に凄い執念だ。

「つまり…… あろうことがあのババアに俺の…… 俺の性癖を知られてる…… ってことなんだ……」

なんだか智が凄く可哀想になってきた。俺なら…… ひきこもるかも。

「俺のこと可哀想だと思うだろ？」

「ああ。」

「だからさ……」

智は一回深呼吸をした。

「お前ん家にエロ本置かせてくれ。」

「却下だ。」

「何でだよ！！助けてくれよ！！」

「馬鹿野郎！！そんなメンドくせえ親子のやりとりなんか知ったこつちゃねえ！！それに……」

「な、なんだよ。」

「お前の性癖なんて知りたくねえし。」

その後一時間程智はうなだれていた。

「…………金庫でも買おうかな…………」

「…………やめとけ。」

（後書き）

中学校時代のネタ（めちゃくちゃ古いです（汗））を久しぶりに思い出したので書いてみました。ちなみに友人の話ですので物語と作者とは一切関わりがありませんので（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9804a/>

熱くなる理由(わけ)

2011年1月4日14時54分発行